

開始前

(ミサ前 5～7分位前に)

「皆さん、こんばんは。六時半より 御ミサが始まりますが、その前にいくつかお願い申し上げます。

- できるだけ前に座るように
- 携帯電話・スマートフォンは電源を切るかマナーモードで
- 御御堂内での写真・動画等の撮影は許可を受けた人以外禁止
- ミサ中、司祭から、キリストのからだとなった白いパンを受ける聖体拝領が行われますが、聖体拝領にあずかるのは洗礼を受けた信徒に限られておりますので、洗礼を受けておられない方は受け取ることのないようお願いいたします。
- (見つからない場合) 第一・第二朗読朗読者を募る

それではオルガニストさん、聖歌のご案内をお願いいたします。」

開祭

「お立ち下さい。年間第〇〇主日(『聖書と典礼』表題参照)の御ミサが始まります。入祭の歌、〇〇聖歌 ×× 番。」

1 入祭の歌と行列

2 あいさつ

3 回心

司祭 皆さん、神聖な祭りを祝う前に
わたしたちの犯した罪を認めましょう。

司祭 全能の神と、

司祭・会衆

兄弟の皆さんに告白します。

わたしは、思い、ことば、行い、^{おこた}怠りによって
たびたび罪を犯しました。

聖母マリア、すべての天使と聖人、

そして兄弟の皆さん、

罪深いわたしのために神に祈ってください。

司祭 全能の神がわたしたちをあわれみ、罪をゆるし、永遠のいのちに導いて
くださいますように。

会衆 アーメン。

4 あわれみの賛歌 (キリエ)

5 栄光の賛歌 (グロリア)

※ 四旬節中はなし。

6 集会祈願

司祭 祈りましょう。…… 聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、
支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆 アーメン。

「お座り下さい。これから『ことばの典礼』に入ります。朗読者と答唱の方は中央にお並び下さい。」

ことばの典礼

「第一朗読。」

7 第一朗読

終了後→ 30 秒程黙想→ 「答唱詩編。」

8 答唱詩編

「第二朗読。」

9 第二朗読

「お立ち下さい。アレルヤ唱。」

10 アレルヤ唱

※ 四句節中は詠唱

11 福音朗読

12 説教

13 信仰宣言

司祭 天地の創造主、

司祭・会衆

全能の父である神を信じます。父のひとり子、私たちの主イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられて死に、^{ほうむ}葬られ、^{よみ}陰府に下り、三日目に死者のうちから復活し、天に昇って全能の父である神の右の座に着き、生者と死者を裁くために来られます。

(この後を唱えながら朗読台に移動)

聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン。

14 共同祈願

マイク前にて先唱。共同体独自の祈願があればここで追加。終わったら司祭に振り返って合図を。

感謝の典礼

15 奉納行列と奉納の歌

16 パンを供える祈り

司祭 神よ、あなたは万物の造り主、ここに供えるパンはあなたからいただいたもの、大地の恵み、労働の実り、わたしたちのいのちの糧となるものです。

会衆 神よ、あなたは万物の造り主。

17 ぶどう酒の準備

18 カリスを供える祈り

司祭 神よ、あなたは万物の造り主、ここに供えるぶどう酒はあなたからいただいたもの、大地の恵み、労働の実り、わたしたちのいのちの糧となるものです。

会衆 神よ、あなたは万物の造り主。

19 清め

(司祭が手を拭って侍者と一礼したところで)「お立ち下さい。」

20 奉納祈願

奉献文・感謝の祈り

21 叙唱前句

22 叙唱

23 感謝の賛歌 (サンクトゥス)

24 奉献文

侍者がいない場合は司会が鈴を鳴らすこと。

司祭 まことにとうとくすべての聖性の源である父よ、

鈴・1回

司祭 いま聖霊によってこの供えものをとうといものにしてください。わたしたちのために主イエス・キリストの御からだと十御血になりますように。

司祭 主イエスは……「皆、これを取って食べなさい。これはあなたがたのために渡されるわたしのからだである。」

鈴・礼の前後に1回づつ

司祭 食事の終わりに……「これをわたしの記念として行いなさい。」

鈴・礼の前後に1回づつ

25 記念唱

26 栄唱

司祭 キリストによって、キリストとともに、キリストのうちに。聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに。すべての誉れと栄光は、世々に至るまで。

会衆 アーメン。

交わりの儀

27 主の祈り

司祭・会衆

天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、
悪からお救いください。

アーメン。

28 副文

司祭 いつくしみ深い父よ、すべての悪からわたしたちを救い、現代に平和をお与え下さい。あなたのあわれみに支えられ、罪から解放されて、すべての困難に打ち勝つことができますように。わたしたちの希望、救い主イエス・キリストが来られるのを待ち望んでいます。

会衆 国と力と栄光は、限りなくあなたのもの。

29 教会に平和を願う祈り

30 平和のあいさつ

31 平和の賛歌 (アニュス・デイ)

32 拝領前の信仰告白

司祭 神の子羊の食卓に招かれた人は幸い。

会衆 主よあなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、あなたをおいてだれのところへ行きましょう。

司祭 主イエス・キリスト、あなたのからだと血をいただくことによって、裁きを受けることなく、かえってあなたのいつくしみにより、心もからだも強められますように。

(鈴が鳴ったところで)

「これから、御聖体拝領と司祭の祝福が行われます。前列の方から順に中央通路にお進み下さい。御聖体拝領は、洗礼を受けた信者だけが許されたものですので、洗礼を受けておられない方は御聖体をいただくことはできません。祝福に関してはどなたでも受けられますので、希望される方はご一緒にお並びになり、手を合わせたまま、司祭の前にお進み下さい。拝領の歌、〇〇聖歌 ×× 番。」

33 拝領

34 拝領後の感謝

拝領後、着席して沈黙のうちにしばらく祈る。司祭がカリス等を片付け、後方に戻ったところで「お立ち下さい。」

35 拝領祈願

閉祭

36 お知らせ

主任司祭以外の司式の場合:

- 月初めのミサの場合は「召命を求める祈り」(この文書の巻末参照)
- お知らせは司会者が読むこと

主任司祭の司式の場合は主任司祭が読まれる。

37 派遣の祝福

38 閉祭のあいさつ

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 また司祭とともに。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が + 皆さんの上にありますように。

会衆 アーメン。

39 退堂

司祭 感謝の祭儀を終わります。行きましょう、主の平和のうちに。

会衆 神に感謝。

「閉祭の歌、〇〇聖歌 ×× 番。」

「以上で、〇月〇日の御ミサが終わりました。皆様、お気をつけてお帰り下さい。」

補：召命を求める祈り

いつくしみ深い父よ、
あなたの民を^{かえり}顧み、
イエス・キリストのために
生涯をささげる司祭の召命を
お与え下さい。
聖霊の恵みと力に支えられて、
多くの青少年が、あなたの
招きにこたえることが
できますように。
わたしたちの主
イエス・キリストによって。
アーメン。